

## 都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	数学 ・ 数学A (2)
対象年次	1年次
使用教科書	新編数学A (第一学習社)
使用副教材	スタディ 数学A (第一学習社)
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	集合	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合に関する用語・知識を習得させる</li> <li>ド・モルガンの法則を理解させる</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 数学的な見方や考 え方 数学的な技能 知識・理解  <b>【方法】</b> 定期考査の成績と 提出物や授業の取 り組み等の平常点 を勘案して5段階 で評価する	4
		1章 場合の数 1節 数え上げの原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合の知識を用いて、その要素の個数を求められるようにする</li> <li>倍数の個数などを、集合の要素の個数の求め方を応用して求められるようにする</li> <li>必要なときに、重複なくもれなく数え上げるための工夫として、樹形図を用いて求めることができるようにする</li> <li>和の法則、積の法則を理解して必要に応じて使うこと、またきちんと使い分けられるようにする</li> </ul>		8
1 学期	5 月	定期考査 I			1
		1章 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>順序が関係する選び方(並べ方・順列)の総数が求められるようにする</li> <li>重複順列、円順列の総数を求める考え方を理解させ、求められるようにする</li> <li>組合せと順列の違いを理解させ、組合せの総数が求められるようにする</li> </ul>		10
1 学期	6 月				
1 学期		定期考査 II			1
	7 月	2章 確率 1節 確率とその基本的な性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の意味や考え方を理解させる</li> <li>集合の知識を用いて事象を表すことや、同様に確からしい根元事象を基にした確率の計算ができるようにさせる</li> <li>確率の基本的な性質を理解し、それらを用いた確率の計算ができるようにさせる</li> <li>和集合を考えることにより、確率の加法定理が使える場合が判断できるように理解させる</li> <li>余事象を用いた確率計算の考え方を理解させる</li> </ul>		8
2 学期	9 月	2章 2節 独立な試行と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の意味を理解させ、その確率の計算ができるようにさせる</li> <li>独立な試行の延長として、反復試行の確率計算ができるようにさせる</li> </ul>		6

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
2 学 期	1 0 月	2章 3節 条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>条件付き確率の意味を理解させ、その計算ができるようにさせる</li> <li>確率の乗法定理の式を覚え、計算に使えるようにさせる</li> </ul>		4	
		定期考査Ⅲ			1	
	1 1 月	4章 図形の性質 1節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>内分、外分や平行線と線分の比について理解させる</li> <li>三角形の内角や外角の二等分線の性質を理解させる</li> <li>三角形の重心、外心、内心の意味とその性質を理解させる また、それらを用いて指定された角の大きさや線分の長さを求められるようにさせる</li> <li>チェバの定理、メネラウスの定理の内容を覚え、必要に応じて使えるようにさせる</li> </ul>		8	
定期考査Ⅳ			1			
2 学 期	1 2 月	4章 2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校での既習事項（円周角の定理とその逆）を確認させる</li> <li>円に内接する四角形の性質と四角形が円に内接する条件を理解させる</li> <li>円の接線の長さについて理解させる</li> <li>接弦定理や方べきの定理を理解させる</li> <li>2つの円の関係を理解させる</li> </ul>			8
		3 学 期	1 月			<ul style="list-style-type: none"> <li>円の性質についての学習事項を用いて、円に関する線分の長さや角の大きさを求めることができるようにする</li> </ul>
3 学 期	2 月	4章 4節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間内の直線や平面の関係を理解させ、なす角などが求められるようにさせる</li> <li>垂直条件に関する三垂線の定理を理解させる</li> <li>多面体に関するオイラーの定理の存在を知らせる</li> <li>正多面体についての知識を深めさせる</li> </ul>			9
		3 学 期	3 月			定期考査Ⅴ
				計		70